

## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 酒井 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 長坂 利明

TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	6,024	0.4	594	△17.2	514	△23.6	314	△6.3
23年12月期第3四半期	5,998	18.7	717	69.7	673	95.0	335	106.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	62.07	61.82
23年12月期第3四半期	66.29	65.89

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年12月期第3四半期	15,712		8,568		54.4	
23年12月期	16,262		8,466		51.7	

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 8,553百万円 23年12月期 8,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期(予想)				25.00	25.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年12月期配当の内訳 普通配当25円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	△3.1	800	△31.4	730	△34.4	400	△27.7	79.09

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	5,104,003 株	23年12月期	5,104,003 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	43,623 株	23年12月期	46,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	5,059,079 株	23年12月期3Q	5,057,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
(3) 追加情報 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
5. 補足情報 .....	7
(1) 品目別売上高 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成24年1月～9月)におけるわが国経済は、震災の復興需要等、内需関連の業種を中心に緩やかな回復傾向も見られますが、欧州の債務問題や世界経済の減速懸念のほか、長期化する円高、株安、デフレの影響、そして隣国との領土問題に端を発した経済活動への影響も懸念材料となっており、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

そのような状況の中で当社の業績は、震災復興用のマスクの販売が期初計画に比べ低調なものの、オープンクリーンシステム「KOACH」をはじめとする環境関連事業の堅調な動きによって、売上高は60億24百万円(前年同期比0.4%増)となりました。利益につきましては、「KOACH」関連の広告宣伝やショールーム費用等の計上に伴う販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益5億94百万円(同17.2%減)、経常利益5億14百万円(同23.6%減)、四半期純利益3億14百万円(同6.3%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

#### (マスク関連事業)

感染対策用マスク「ハイラック」シリーズは、その高いフィット性が評価され、保健所や感染症指定医療機関での採用が進んでいます。また今期市場投入しましたプレスリンクブロワーマスク「BL-1005」につきましても、安全性・快適性が評価され、着実に売り上げを伸ばしましたが、昨年の震災・原発事故対策用マスク需要の反動に加え、がれき処理の遅れや除染作業のマスク需要がコスト優先によりサージカルマスクに流れていることなどにより、売上高は対前年同期比3.7%減の52億44百万円に留まりました。

#### (その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、ルーム型の「フローコーチEz」を東京大学宇宙線研究所様と株式会社島根富士通様に納入しました。またテーブル上を簡便に清浄化する「テーブルコーチ」は、東京大学大学院量子科学研究センター様等の研究施設のほか、精密機器メーカーの組立や検査ラインでも採用されるなど、その動きが活発となっています。そして、産業向けプッシュプル型換気装置や官公庁向け浄化装置の販売増も寄与し、売上高は7億79百万円と対前年同期比41.5%の増収となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は157億12百万円(前事業年度末162億62百万円)となり5億50百万円減少致しました。その主な要因は、流動資産は現金及び預金と未収還付法人税等の増加、売掛金の減少等により1億8百万円増加したものの、固定資産が土地の減少等により6億59百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は71億43百万円(前事業年度末77億96百万円)となり6億52百万円減少致しました。その主な要因は、流動負債が賞与引当金及び未払法人税等の減少等により5億29百万円減少し、固定負債が長期借入金の減少等により1億23百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は85億68百万円(前事業年度末84億66百万円)となり1億1百万円増加し、自己資本比率は54.4%(前事業年度末51.7%)となりました。その主な要因は、利益計上等に伴い、利益剰余金が1億37百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、ほぼ計画通りに推移しております。従いまして通期の業績予想につきましては、平成24年2月6日付「平成23年12月期決算短信」で発表した数値から変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （3）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,000	2,071,214
受取手形及び売掛金	3,959,058	2,754,293
商品及び製品	399,216	416,366
仕掛品	503,857	682,042
原材料及び貯蔵品	513,487	509,698
繰延税金資産	383,246	275,354
未取還付法人税等	—	196,427
その他	51,734	60,585
貸倒引当金	△4,000	△3,000
流動資産合計	6,854,602	6,962,983
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,344,052	1,460,766
機械及び装置(純額)	784,364	893,748
土地	5,407,133	4,740,386
その他(純額)	673,197	444,341
有形固定資産合計	8,208,747	7,539,243
無形固定資産	33,488	41,494
投資その他の資産		
投資有価証券	58,342	57,302
繰延税金資産	204,172	194,305
役員に対する保険積立金	821,070	831,970
その他	86,413	88,839
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	1,165,998	1,168,417
固定資産合計	9,408,234	8,749,154
資産合計	16,262,836	15,712,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	210,903	282,388
短期借入金	2,100,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,244,200	1,246,400
未払金	211,793	157,035
賞与引当金	332,000	258,000
役員賞与引当金	48,800	22,000
未払法人税等	489,250	—
その他	405,479	247,271
流動負債合計	5,042,427	4,513,095
固定負債		
長期借入金	2,070,600	2,024,300
役員退職慰労引当金	416,700	437,600
その他	266,754	169,001
固定負債合計	2,754,054	2,630,901
負債合計	7,796,481	7,143,997

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	528,693	528,564
利益剰余金	7,255,036	7,392,058
自己株式	△41,901	△39,292
株主資本合計	8,416,093	8,555,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,624	△2,293
評価・換算差額等合計	△1,624	△2,293
新株予約権	51,885	14,840
純資産合計	8,466,354	8,568,141
負債純資産合計	16,262,836	15,712,138

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,998,834	6,024,774
売上原価	3,084,215	3,200,301
売上総利益	2,914,618	2,824,473
販売費及び一般管理費	2,196,912	2,230,357
営業利益	717,706	594,116
営業外収益		
受取利息	115	106
受取配当金	2,078	1,540
受取手数料	7,054	7,723
雑収入	10,981	9,269
営業外収益合計	20,230	18,639
営業外費用		
支払利息	52,311	47,668
支払手数料	—	35,000
その他	12,560	15,536
営業外費用合計	64,871	98,205
経常利益	673,066	514,550
特別利益		
新株予約権戻入益	—	38,533
その他	—	3,580
特別利益合計	—	42,113
特別損失		
固定資産除売却損	2,342	21,502
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,231	—
貸倒引当金繰入額	3,200	—
投資有価証券評価損	34,475	—
特別損失合計	45,250	21,502
税引前四半期純利益	627,815	535,161
法人税、住民税及び事業税	385,000	103,000
法人税等調整額	△92,420	118,129
法人税等合計	292,579	221,129
四半期純利益	335,236	314,031



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,447,645	551,188	5,998,834	—	5,998,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,447,645	551,188	5,998,834	—	5,998,834
セグメント利益又は損失 (△)	2,710,426	204,192	2,914,618	△2,196,912	717,706

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,196,912千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,244,786	779,988	6,024,774	—	6,024,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,244,786	779,988	6,024,774	—	6,024,774
セグメント利益又は損失 (△)	2,351,130	473,343	2,824,473	△2,230,357	594,116

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,230,357千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 品目別売上高

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)		比較増減 (△は減) 金額 (千円)
	金額 (千円)	比率 (%)	金額 (千円)	比率 (%)	
防じんマスク	2,977,427	49.6	2,938,816	48.8	△38,611
防毒マスク	1,526,671	25.5	1,542,323	25.6	15,652
防じん・防毒マスク 関連その他製品	943,547	15.7	763,646	12.6	△179,900
小計	5,447,645	90.8	5,244,786	87.0	△202,859
その他	551,188	9.2	779,988	13.0	228,799
合計	5,998,834	100.0	6,024,774	100.0	25,940
(上記のうち輸出分)	(207,136)	(3.5)	(175,647)	(2.9)	(△31,488)